

水車

学校教育目標：「瞳を輝かせ めあてをもって やりぬく金勝っ子」
めざす学校：あいさつができる学校 いのちを大切にできる学校 うつくしい学校
笑顔あふれる学校 おもいやりのある学校



えが お
「笑顔がふえた」

こう ちょう かわなべ たかのり
校 長 川那部 隆徳

「おもわぬ出会いがありました」(2008年)
「気がつけば、もう降りる駅」(2010年)

「愛鳥週間」や「人権週間」など様々な「〇〇週間」がありますが、これらはある「〇〇週間」の標語です。さて、何の「週間」だと思われませんか？

ちなみに、今年の標語は、

「私のペースで しおりは進む」(2023年)

もうおわかりかと思えます。それは、「読書週間」です。

募集母体である読書推進運動協議会のウェブサイトには、この標語の作者の言葉が掲載されています。

「しおりがなかなか進まない本もあれば、一気に読んでしまう本もあり、読み終わればどちらも、充実感や感動を得ることが出来ます。これからも心に残る物語との出会いを求めて、私のペースで読書を楽しみたいと思います。」

読書週間は、1947年(昭和22年)、戦争の傷跡が色濃く残る戦後まもなく、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと実施され、翌年より現在の10月27日～11月9日(文化の日を中心とした2週間)と定められたそうです。

時期は異なりますが、「こどもの読書週間」(現在：4月23日～5月12日)というのがあります。これは、1959年(昭和34年)にはじまりました。

今年の「こどもの読書週間」の標語は、

「ひらいてとじた 笑顔がふえた」(2023年)



朝晩、ようやく涼しくなってきました。「読書の秋」を、子どもたちとともに満喫ください。

(読書推進運動協議会ウェブサイト参照)

【お願い】

- 用事などでお迎えに来られる際、必ず連絡帳や電話にてご連絡ください。また、友だちも一緒に車に乗せて帰られる場合も、必ず一報いただきますようお願いいたします。
- 欠席時の「お休み郵便」や荷物の持ち帰りは、その日の夕方以降にお願いいたします。長休みや昼休みは授業や給食指導の合間で対応しきれないことがありますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。